

## 問6

## 憲法改正

憲法改正に賛成ですか、反対ですか。

- ①賛成  
②どちらとも言えない  
③反対

## 賛成



大山宏氏  
(無・新)

大統領制への移行や選挙の義務化(罰金制)への移行などの憲法論議をすれば憲法9条問題なんか、吹っ飛んでしまいます



西田英範氏  
(自・新)  
=公推

国民主権、平和主義、基本的人権の尊重の大原則は堅持しつつ、社会の変化に即して憲法を考えていく必要性を感じる。野党にも議論への参加を促し、国民の理解を得て進めたい



山本貴平氏  
(N・新)

国防に対する教育を小学生ぐらいからきちんとやり、郷土愛と愛国心を若い時から養う

## どちらとも言えない



玉田憲勲氏  
(無・新)

現在の日本国憲法の基本原則は、改正すべきではない。一方で国会議員の国民によるリコール制度、ウイグル、ロヒンギャなどの国籍を問わない人権保障規定を具体的に検討

## 反対



宮口治子氏  
(諸・新)  
=立・国・社推

平和憲法の本質は先の大戦を経験した私たちが日本人として何としても守るべきです。その上で国民世論が憲法改正を望むのであればその意思を尊重したい



佐藤周一氏  
(無・新)

3原則の根幹は絶対堅持すべきだ。個別の条項では再検討も必要なものもあるが、現在の選挙制度のもとで冷静な議論は難しい

【注】候補者の並びは、左から選択肢ごとに届け出順。党派の略称は、自=自民党、立=立憲民主党、公=公明党、国=国民民主党、社=社民党、N=NHK受信料を支払わない方法を教える党、諸=諸派、無=無所属